

製鹽地決定價額表

支局名	段別	價額		禁止後見込價額	交付金額	申請人員
		法第三條	法第五條			
味野	二四、七七〇二	七、六一四、一三一	八、七五一、六三三	八〇、三九二、九四四	六八、二三、七五〇	五七
尾道	三〇、五四一四	四九、九七五、八五六	八、五九八、二五五	五八、五七四、一一一	三八、三〇六、八七三	一四
三田尻	六一、四四二七	八三、〇一四、九九七	六四、三四三、六四五	一四七、三五八、六四二	九五、二〇九、五七六	五五
阪出	五六、四一〇七	一〇八、七五三、一六〇	二七、五六六、一一八	一三六、三一八、二七八	一一〇、九四七、〇三三	五二
撫養	五五、三四〇一	一二五、一七六、六五二	—	一二五、一七六、六五二	一〇五、九九三、六六二	一七
熊本	二九五、七八一八	六一九、八三五、五六三	六一、二五九、七二五	六八一、〇九五、二八八	六三〇、七九七、三三〇	四九七
鹿兒島	四三、六三三四	六六、〇九一、二八九	四、五二六、四〇六	七〇、六一七、六九五	六八、九一、六八七	三九八
計	五六七、九三三三	一、二四、四六一、六四八	一七五、〇〇九、三二二	一、二九九、四七〇、九六〇	一、二七、六五九、九二一	一、〇九〇

備考

一 ×印欄ハ決定ニ關係ナキモ參考トシテ記入セルモノトス

右價額ノ決定ニ對シテハ法第七條ニ依リ不服申立ヲ爲スモノナク其ノ決定價額ヲ以テ確定セシ
 ニ依リ續テ審査ヲ完結シ交付金額ノ調定ヲ爲シ前年度ト同一様式ヲ以テ國債證券給付額ト現金
 給付額ト各人別ニ區分シ交付金給付額調書ノ作成ヲ爲シ之ニ依リ明治四十四年二月二日附ヲ以
 テ三宅萬五郎外千七百七十二人ニ對スル交付金額ノ決定ヲ爲シタリ

第十二章 不服申立

第一節 裁定

不服申立、再鑑定、裁定

交付金ヲ下付スヘキ物件ノ價額調査ニ關シテハ努メテ精密公平ヲ期シ當事者ヲシテ能ク政府ノ認定ニ信賴セシムル方針ヲ以テ施行シタル爲製鹽地價額ノ決定ニ對シ不服ノ申立ヲ爲ス者又ハ建物設備器具器械ノ價額協議ノ成立セサリシモノ稀ニシテ計畫當初懸念シタル如キ紛雜ヲ觀ルニ至ラスシテ調査ヲ了スルヲ得タリ獨リ水戸支局管内ニ於ケルニ製鹽場三春支局管内ニ於ケル一製鹽場ニ關シ協議成立セス決定價額ニ不服ノ申立ヲ爲スニ至レルモノアルヲ遺憾トス

前記不服申立ヲ爲シタル三製鹽場ニ對スル調査中水戸支局管内ノ分ニ在リテハ調査ノ當初機械ニ關スル専門技術者ヲ特派シ下調ヲ爲サシメ之ニ據リ當該支局ニ於テ念查ヲ遂ケ三春支局ノ分ニ在リテハ其ノ下調ノ初ニ於テ青森縣技師ニ囑託シ建物設備等ノ意見ヲ徵シ之ニ據リテ當該支局ノ調査ヲ遂ケ何レモ一般普通ノ調査以上ニ念調シタルモノニシテ而モ之カ協議ニ臨ミテヤ折衝ヲ重ネ幾度カ再考ヲ促シ本局ニ在リテモ更ニ水戸支局管内ノ分ニ對シテハ専門技師三名ヲ特派シテ再查セシメ三春支局管内ノ分ニ對シテモ事情ニ精通セル技師ヲ出張セシメ以テ調査上遺算ナカラシメ更ニ協議ヲ盡サシメタルモノニシテ遂ニ之ヲ調フルニ至ラサリシハ實ニ止ヲ得サルナリ

製鹽地價額ニ關シ法第五條及第六條第一項ノ政府決定ニ對シ不服申立ヲ爲シタルモノ左ノ如シ

不服申立人 氏名	種類	段別	價額		見込價額		決定日附	不服申立日附
			申請	決定	申請	決定		
渡邊兵四郎	煎熬場鹽貯藏場敷地	町	二〇八	七、三八、二五〇	四九一、六〇〇	四、五三三	明治四十四年三月二日	明治四十四年三月十一日
米田甚吉	煎熬場鹽貯藏場燃料置場敷地	町	六四	一五、一五〇、〇〇〇	三、四〇一、〇〇〇	一、二五〇、〇〇〇	明治四十四年三月十五日	同 三月十八日
米田千代吉	煎熬場敷地	町	一	一五〇、〇〇〇	三、〇〇〇	二、一七〇、三六〇	同	同 三月二十一日
合名會社 淺虫製鹽場	同	町	四二〇	一四、〇〇〇、〇〇〇	二、九二五、八四〇	八四三、二〇〇	同	同 三月十八日

不服申立人 氏名	種類	段別	價額		見込價額		決定日附書	不服申立日附
			申請	決定	申請	決定		
野内村字淺虫	同 煎敷場鹽貯藏場 燃料置場敷地	町 一〇二	三、〇〇〇、〇〇〇	七、七六八〇	一六六、四〇〇	二九五、七〇〇	同	同 三月二十一日
			三、七五〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	三七五、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	同	同 三月二十一日
宮本甚兵衛		二二五						

建物設備器具器械ノ價額ニ關シ第六條第二項ニ依リ協議調ハサリシモノハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ
專賣局長官其ノ價額ヲ決定シ各申請人ニ通知シタルニ何レモ之ニ對シ不服ノ申立ヲ爲シタリ

不服申立人氏名	金額		決定書送達日附	不服申立日附
	申請	決定		
岩松善次郎	七、四九九、五六六	三、〇七五、一六九	明治四十四年三月二十一日	明治四十四年三月二十八日
渡邊兵四郎	一七、九五七、四九〇	三、五九九、三五九	同	三月二十九日
米田甚吉	八、七四九、三八三	二、四八八、八四一	同	三月二十五日
米田千代吉	一二、〇一八、五二一	三、一八三、〇一七	同	三月二十五日

一 岩松善次郎ノ不服申立ニ係ル製鹽場ハ茨城縣多賀郡松原町大字安良川字濱野ノ海岸ニ位置
シ其ノ製鹽場及設備ハ第六章製鹽狀況ノ節ニ於テ海水直煮製鹽ノ一例トシテ記シタルモノ
即チ此ノ製鹽場ニシテ一箇年ノ生産許可高三十六万斤ニシテ其ノ製鹽地ハ松原町有ニ係リ
之ニ對シテハ鑑定價額ニ據リ決定シタル專賣局長官ノ決定價額ニ承服シ交付金ハ其ノ管理
人松原町長ニ交付シタリ建物設備器具器械ニ對シテハ其ノ所有者岩松善次郎ハ其ノ決定價
額ヲ不當トシ尙建物設備器具器械中交付金ヲ下付セサルモノトシテ除外シタルモノアルハ
不服ナリトノ申立ヲ爲セリ依テ右不服申立書ハ左記ノ進達書ヲ添ヘ申請書調査書鑑定書決
定書ヲ附シ大藏大臣ヘ進達シタリ

茨城縣多賀郡松原町大字安良川字濱野二百九十二番地

岩松善次郎代理人

不服申立人

八町卯之吉

右ハ茨城縣多賀郡松原町大字安良川字濱野二百九十二番地所在製鹽場使用ノ建物設備器具器械ニ關スル別紙第一號明治四十三年十月二十九日受付交付金下付申請書ニ對シ別紙第二號ノ如ク水戸支局ヲシテ調査セシメ法第六條ニ依リ申請人ニ對シ協議ヲ試ミタルモ本人ノ要求額トノ差大ナルヲ以テ更ニ支局調査額ノ正確ヲ期スルノ必要ヲ認メ當局ヨリ專門技術官三名ヲ派シ價額ノ再查ヲ爲シタルニ合計ニ於テ六百四十餘圓ヲ増加シタルヲ以テ右再調額ニ據リ數回交渉ヲ重ネ協議セシモ竟ニ協議調ハサリシニ依リ鑑定ニ付シタリシニ別紙第三號ノ如ク鑑定セルヲ以テ當局ニ於テハ審査ヲ遂ケ鑑定額ヲ以テ適當ナリト認メタルニ依リ鑑定人ノ意見ヲ採用シ別紙第四號ノ如ク決定書ヲ作成シ明治四十四年三月二十一日之ヲ申請人ニ送達シタルニ別紙第五號ノ如ク三月二十八日不服ノ申立ヲ爲シタルモノニ有之候(別紙省略)

一 價額認定ニ關スル件

本人不服ノ理由ハ一般ニ新調價額ノ見積方低クシテ保存年限短ク禁止後見込價額過大ナリト云フニ在ルモ建物設備器具器械ノ價額調査方ニ付テハ所轄水戸支局ニ於テ禁止前及禁止後共擔當調査員ヲシテ十分調査ヲ爲サシメタル外當局ヨリ別ニ設備機械ニ關スル技術者ヲ派シ右調査ヲ正確ナラシムルニ努メ水戸支局長及當局出張員ハ數次實地ニ臨ミ調査方ノ適否及附近製鹽場トノ權衡ノ如何ヲ監督シ後更ニ念查ノ爲設備機械等ニ關スル專門技術二名建築專門技手一名ヲ派シテ從來ノ調査ヲ補ヒ特ニ最慎重ニ調査ヲ施行シタルモノニシテ其ノ新調又ハ建設費ハ現ニ其ノ製鹽場ニ於テ新築又ハ新調スヘキ適實ノ價額ヲ見積リ現狀ニ鑑ミ保存年限ヲ相當ニ定メ經過年數ニ應シ遞減法ニ依リ禁止ノ際ノ見積價額ヲ適實ニ査定シ又禁止後見込價額ハ物件ノ現狀附近ノ事情ニ鑑ミ製鹽以外ニ轉用セラルヘキ相當ノ用途及價額ヲ見積リタルモノニシテ右調査額ニ基キ尙鑑定人ノ意見ヲ參照シテ決定シタル各價額ハ何レモ實際ノ事情ニ適合シ正確ナルモノト認ム

二 除外物件ニ關スル件

本人ハ左記各物件ニ對シ取扱官署ニ於テ交付金ヲ下付セサルモノトシテ除外シタルハ不當ナリト云フモ右ニ對スル調査方ハ左ノ理由ニ依ルモノニシテ當局ノ取扱方ハ正當ナルモノト認ム

一 貯炭場

右ハ石炭ノ貯藏ニ専用スル建物ニシテ其ノ用途ニ於テ省令第四條第一項ニ定メタル交付金ヲ下付スヘキ建物ニ屬セサルニ依リ除外セリ

二 煎熬所鹽貯藏場管理所

右ハ製鹽管理人ノ居住及執務ニ供スル建物ニシテ前同一ノ理由ニ依リ除外セリ

三 煎熬場内湯氣受内部板張

右ハ煎熬釜ノ上部ニ設ケタル特殊ノ設備ニシテ建物ノ構成部分ニ含ムヘキモノニ非ス設備トシナハ省令第五條中該當スヘキモノナキヲ以テ之ヲ除外セリ

外セリ

四 煎熬場地形山斜面切崩

第十二章 不服申立

五 鹽貯藏場山切崩砂防張芝

右二號地均費等ハ建物自體ノ價額ニ計入スヘキモノニ非スト認メ除外セリ

六 煽風摺拌濃縮装置

右ハ煎熬釜ヨリ發生スル蒸汽ヲ昇騰ヲ助クル目的ヲ以テ多數煎熬釜中僅ニ其ノ一二附シ殆ト試験的ニ使用シ居タルコトアルニ止マリ省令第五條中海水濃縮装置トシテ交付金ヲ下付スヘキモノニ非スト認メ之ヲ除外セリ

七 海水貯藏用容器

右ハ地面ヲ掘リ「コンクリート」ヲ以テ突キ堅メタル貯溜池ニシテ省令第五條ノ容器ニ非ス且現ニ苦汁溜ニ供用セルニ依リ除外セリ

八 鹽摺

九 鹽揚箕

十 苦汁取

十一 石炭くべ十能

十二 焚殼棄箱車

右各號ハ何レモ省令第六條ニ依リ專賣局長官ノ決定シタル品目中之ニ該當スヘキモノナキニ依リ除外セリ

十三 鹽揚

「鹽揚」ナル名稱ハ省令第六條ニ依リ專賣局長官ノ決定品目ニ該當スルモノアルモ本號該當ノ物件ハ現ニ「鹽揚」ト稱セス「さぶろう」又ハ「すこつぶ」ト稱セルニ依リ名稱該當セサルモノト認メ除外セリ且本人ハ本品ニ付申請ヲ爲ササリシモノナリ

十四 はしり

「はしり」ハ專賣局長官決定品目中ニ存スルモ現實「ながし」ト稱セルニ依リ前項ト同一主旨ニ依リ除外セリ

十五 火さぐり

右ハ通稱「でれつき」ト稱シ前項ニ同ク除外スヘキモノニシテ且本人ハ本品ニ付申請ヲ爲ササリシモノナリ

十六 焚殼かきだし

右ハ專賣局長官決定ノ品目中ニ該當ノ名稱ナク且本人ハ申請ヲ爲ササリシモノナリ

十七 こーらねとし

「こーらねとし」ハ專賣局長官決定ノ品目ニ該當スルモノアルモ現ニ「金槌」ト稱シ「こーらねとし」ト稱セサルニ依リ除外セルモノニシテ且申請ナキモノナリ

十八 こびねとし

前號ニ同シ

十九 石油發動機水槽

右ハ省令第五條第二號原動機關ノ据付装置中ニ計入調査シ相當交付金ヲ見積リアリ

二十 海水汲揚場用梯子

右ハ汲揚場ニ使用セル梯子ニシテ取外シ得ヘク省令第五條ノ装置ニ該當スヘキモノニ非サルヲ以テ除外セリ

二十一 杭打工事足場材料

右ハ海水汲揚装置ノ杭打込ニ使用シタルモノニシテ地方一般ニ損料ニテ借入ヲ爲シ新調スルモノナキヲ以テ損料トシテ工費中ニ計上スルヲ相當ト認メ材料トシテ計入セス

二十二 杭打工事足場掛入夫賃

足場掛入夫賃ハ杭打入夫中ニ見積計入調査セリ

二十三 汲水場設計監督技師費用

汲水場ノ新設費ニ計入スヘキモノニ非スト認メ計上調査セス

二十四 從業者交代部屋

貯炭場ト同一事由ニ依リ除外スヘキモノニシテ且本人ハ申請ヲ爲ササリシモノナリ

前記ノ理由ニ依リ不服申立ニ係ル建物設備器具器械ノ價額ハ決定額ヲ以テ相當ト認ムヘク前記第一乃至第三、第六乃至第二十一及第二十四ノ除外物件ハ規定上交付金ヲ下付スヘカラサルモノト認メラルノミナラス交付金ヲ下付スヘキ物件ノ價額ニ付テハ裁定ノ請求ヲ爲スヲ得ヘキモ交付金ヲ下付スヘキ物件ノ範圍ニ付テハ法律上不服ノ申立ヲ爲スヲ得サルモノト認メ候
右意見ヲ附シ及進達候也

明治四十四年四月二十六日

大藏大臣 公爵 桂 太郎 殿

專賣局長官 濱 口 雄 幸 印

二 渡邊兵四郎不服申立ニ關スル製鹽場ハ福島縣雙葉郡廣野村大字淺見川字向海岸ニ在リ生産

許可高ハ八十万斤ニシテ製鹽方法ハ前記岩松善次郎ト同ク建物設備等亦大體ニ於テ異レル

モノナク唯海水汲揚装置ハ岩松善次郎製鹽場ニ在リテハ鐵管ヲ海底ニ沈置シ蒸汽力ニヨリ唧筒ニテ海水ヲ汲揚シ數町ヲ隔テタル製鹽場ニ樋ヲ通シテ輸送セルモ本製鹽場ハ附近ニ井ヲ穿テ該井ニ浸出セル海水ヲ手動唧筒ニテ汲揚シ樋ヲ架シ之ヲ輸送スルノ差アルノミ製鹽敷地ハ官有地及民有地ヲ併セ使用セルヲ以テ省令第三條ニ依リ交付金ヲ下付スヘキ部分民有地ニ畝八歩ニ對シ價額ヲ決定シタルニ其ノ價額ニ對シ不服ナルノミナラス交付金ヲ下付セサルモノトシテ除外シタル處分ニ對シテモ亦不當ナリトセリ而シテ建物設備器具器械ニ對シテモ其ノ決定價額ヲ不當トシ且除外處分ニ對シ不服申立ヲ爲セルモノニシテ右申立書ハ左記進達書ヲ以テ一件書類ヲ添附シ大藏大臣へ進達シタリ

第一 製鹽地ニ關スル事項

右ハ福島縣雙葉郡廣野村大字下淺見川字向十一番地所在製鹽場敷地ニ付テ別紙第一號明治四十三年十月二十四日受付第二八號法第二條第三號交付金下付申請書ニ對シ別紙第二號ノ如ク水戸支局ヲシテ調査セシメ其ノ價額ニ付法第五條ニ依リ鑑定ニ付シタルニ鑑定人ハ別紙第三號ノ通鑑定ヲ爲シタルニ付別紙第四號ノ通決定ヲ爲シ明治四十三年省令第二十號第十四條第二項ニ依リ其ノ決定書ヲ作成シ明治四十四年三月二日日本人ニ送達ヲ了シタル處三月十一日別紙第五號ノ如ク不服ノ申立ヲ爲シタルモノニ有之候(別紙省略)

右渡邊兵四郎製鹽場ハ海水製鹽直接火力使用ノ法ニ依ルモノニシテ鹽田製鹽ノ如ク採鹹地ニ該當スルモノナク其ノ製鹽地ノ見積價額ハ法第五條第一號ニ依リ禁止後見込價額ハ法第六條ニ依リ共ニ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定スヘキモノニ屬セリ法律ノ規定ヲ按ズルニ製鹽地ニ對スル交付金ハ當事者ノ特殊ノ事由ニ依リ失費ヲ補償スヘキ趣旨ニ非サルヲ以テ之カ見積價額ハ實地ノ現況ニ應シ附近ノ情況ニ鑑ミ宅地トシテ比準スヘキ相當ノ價格ヲ求メ一段歩百二十圓ニ見積リ禁止後見込價額ハ製鹽ニ使用セサルモノトシテ實地ノ情況ニ應シ相當ノ用途ト價額ヲ定ムルノ方針ヲ以テ之ヲ雜種地トシテ段當二十圓ニ見込算定シタルモノニシテ價額ノ決定ハ相當ナルモノト認メ候而シテ其ノ段別ノ如キハ省令第三條ノ規定ニ依リ鹽ノ製造又ハ貯藏ニ供用スル土地ニ限リ其ノ他ヲ除外シタルモノニシテ申請書ノ段別ト符合セルヲ以テ此ノ點ニ付テハ不服申立ノ餘地ナキモノト認ム

第二 建物設備器具器械ニ關スル事項

右ハ前記製鹽場ニ於テ使用スル物件ニ對スル別紙第六號明治四十三年十月二十四日受付第二四一號建物交付金下付申請書及同日受付第二三五號設備器具器械交付金下付申請書ニ對シ別紙第七號ノ如ク所轄水戸支局ヲシテ調査セシメ右ニ基キ法律第四十八號第六條第二項ニ依リ當事者ト價額ノ協議ヲ試ミタルモノ本人ノ主張ト調査額トノ差違甚大ナルニ付更ニ支局調査ノ正確ヲ期スルノ必要ヲ認メ當局ヨリ専門技術官三名ヲ派シ價額ノ再查ヲ爲シタルニ合計ニ於テ三百十餘圓ヲ増加シタルヲ以テ右再調査額ニ依リ數回交渉ヲ重テ協議シタルモ竟ニ協議調ハサリシニ依リ法第六條第二項ニ依リ鑑定ニ付シタルニ鑑定人ハ別紙第八號鑑定書ノ通鑑定シタルニ付其ノ鑑定價額ヲ相當ト認メ別紙第九號ノ決定書ヲ作成シ明治四十四年三月十九日日本人ニ送達ヲ了シ本人ハ右ニ對シ同年三月二十八日別紙第十號ノ如ク不服申立ヲ爲シタルモノニシテ其ノ要點左ノ如クニ有之候(別紙省略)

一 海水輸送裝置ニ關スル件

右ニ關スル本人ノ申立ハ本製鹽場ニ使用スル海水輸送ニ使用スル横穴、堅穴及之ヲ支持スル杉丸太等ニ關スル總テノ設備ヲ海水輸送裝置トシテ交付金ノ下付ヲ得度ト云フニ在ルモ

イ 横穴及堅穴ハ官有地中ノ岩層ヲ掘鑿シテ海水ノ導入ニ便セルモノニシテ本人ノ申立ニ依レハ第一横穴ハ堅四尺横三尺長二十間第二横穴ハ堅四尺横三尺長二十五間堅穴ハ口徑一丈底徑一丈四尺深四十尺ヲ有ス(竅ノ廣狹長短ハ本人ノ主張實地ト適合スルモノヤ否ヤ地下又ハ水中ニ屬スル爲之ヲ謂)此ノ洞穴カ製鹽用海水ノ輸送ニ關係ヲ有スルハ疑ナキモ單ニ岩石ヲ穿通セル洞穴タルニ過キスシテ其ノ構造カ海水輸送ノ目的ヲ達スル爲メ器具器械其ノ他ノ材料ヲ組合セテ備付タル一箇ノ裝置ニ非サルヲ以テ從テ此等ノ洞穴ヲ以テ直ニ省令第五條第四號ノ海水輸送裝置ト認ムヘキモノニ在ラス

ロ 是等洞穴ハ自然ノ岩層ヲ穿テルノ外第一横穴ニハ松梓木三十六組同矢木三百七十本ヲ使用シ第二横穴ニハ松梓木四十九組同矢木五百本ヲ使用シ居ル旨ヲ主張シ從テ洞穴ヲ以テ海水輸送裝置ナル旨ヲ申立テ居ルモ假ニ實際是等ノ材料ヲ使用シ居ルトスルモ是等ノ洞穴ノ掘鑿ニ便シ兼テ土壤ノ崩壞ヲ

防止スルノ目的ニ止マリ海水輸送ノ作用ニ直接關係アル備付ニ非ス從テ梓木矢木等ノ松丸太ヲ間接補助材料トシテ使用スルコトヲ以テ直ニ洞穴ヲ裝置ナリト認定スヘキモノニ在ラス

右ノ事由ニ依リ自然ノ岩層ヲ穿テル横穴及堅穴ハ何レモ之ヲ海水輸送裝置ト認メス岩層ノ上ニ煉瓦ヲ以テ築上タル部分唧筒附屬パイプ上屋木樋ヲ以テ省令第五條第四號ノ裝置ト認メ交付金ヲ下付スルコトニ調査シタルハ適當ト認ム

二 燃料並包裝輸送専用軌道ニ關スル件

本人ノ主張ハ右軌道ヲ交付金ヲ下付スヘカラサルモノトシテ全然除外シタルハ不當ニシテ製鹽ニ専用シタル物件ハ省令中ニ明文ナキモ交付金ノ下付ヲ得ヘキモノナリト云フニ在ルモ省令第五條及第六條ハ法第一條第六項ニ依リ交付金ヲ下付スヘキ設備器具器械ノ種類ヲ限定シタルモノニシテ右條項ニ明文ナキ設備ニ對シテハ交付金ヲ下付スヘカラサルハ明白ノ理ニシテ燃料及製鹽運送ノ設備ハ省令第五條中ニ列舉シタル種類中該當スヘキモノ全ク存セサルヲ以テ之ニ對シ交付金ヲ下付スヘカラサルハ勿論トス

三 建物設備器具器械價額ニ關スル件

右不服ノ理由トスル所ハ要スルニ建設又ハ新調費ノ見積方低キニ失シ保存年限短ク禁止後見込價額高キニ過クルト云フニ在リ是等物件ノ價額調査ニ付テハ製鹽禁止前及禁止後所轄水戸支局ニ於テ擔當調査員ヲシテ充分ナル調査ヲ爲シ別ニ禁止前當局ヨリ設備器具器械ニ關スル專門技術者ヲ派シテ調査セシメ後水戸支局ハ勿論當局ヨリモ監督員ヲ派シテ調査方ノ適否他ノ製鹽場トノ權衡ヲ調査監督セシメ其ノ後當事者ト協議ノ調ハサルヲ見ルニ及ヒ更ニ建築機械等ニ關スル專門技師二名技師一名ヲシテ特ニ念調ヲ爲サシメタルモノニシテ交付金ヲ下付スヘキ物件ノ價額調査ニ付テハ最慎重ニ之ニ當リ其ノ見積價額ハ先現時製鹽場所在地ニ於テ建設又ハ新調スルモノトシテノ費額ヲ見積リ其ノ狀態ニ鑑ミ保存年限ヲ適當ニ定メ實際ノ經過年數ニ應シ遞減法ニ依リ製鹽禁止ノ際ノ價額ヲ見積リタルモノニシテ禁止後見込價額ハ物件ノ現狀製鹽場附近ノ狀況ニ鑑ミ製鹽以外ニ適宜ノ用途ヲ見込ミ相當ノ價額ヲ査定シタルモノニシテ鑑定人ノ鑑定價額亦右調査額ト一致シ之ニ依リ價額ヲ決定シタルモノナルヲ以テ是等物件ノ建設費新調價額保存年限及之ヨリ算出シタル見積價額及禁止後見込價額ハ實際ノ事情ニ適合シ何レモ適確ナルモノト認ム

右建物設備器具器械ニ關スル異議ノ事由由三項ノ内第一項及第二項ハ交付金ヲ給付スヘキ物件ノ範圍ニ屬スル異議ニシテ法律上專賣局長官ノ決定ニ對シ不服ノ申立ヲ爲スノ權能ナキモノト認ム
右意見ヲ附シ及進達候也

明治四十四年四月二十六日

大藏大臣 公爵 桂 太郎 殿

專賣局長官 濱 口 雄 幸 印

三 米田甚吉外四名ノ不服申立ニ係ル製鹽場ハ青森縣東津輕郡野内村大字淺虫字内野及字螢谷

ニ在リ其ノ製鹽方法製鹽設備等ハ第六章製鹽狀況ノ節ニ略記セルカ如ク特殊ノ製鹽ニシテ製造人米田千代吉ニ對スル生産許可高ハ一箇年四十万斤トナレリ製鹽敷地ハ不服申立人五名ノ所有地ヲ併用セルモノニシテ其ノ中ニハ溫泉ノ湧出セル鑛泉地アリ地目鑛泉地ニ非サルモ井ヲ穿テ鑛泉地同様に溫泉ノ湧出瀦溜セル部分アリ製鹽方法ノ特色ハ此ノ溫泉熱ヲ利

用シテ海水ヲ蒸發セシメ鹹水ヲ製造スルニ在リ之ニ對シ製鹽地ニ在リテハ省令第三條ニ依
リ交付金ヲ下付セサル部分ヲ除外シ建物設備器具器械ニ對シテハ同第四條乃至第六條ニ依
リ交付金ヲ下付スヘキ物件ニ對シ夫々價額ヲ決定シタルモノニシテ不服申立人ハ之ニ對シ
其ノ價額見積ヲ不當トスルノミナラス除外處分ニ對シテモ亦不服ナリト主張セルモノニシ
テ是亦左記進達書ヲ以テ一切ノ關係書類ヲ添附シ大藏大臣へ進達シタリ

甲第一四一一號

明治四十三年法律第四十八號第七條不服申立ノ件

第一 製鹽地ニ關スル事項

不服申立人

青森縣東津輕郡野内村大字淺虫九十九番戶

米 田 甚 吉

同 所

米 田 千 代 吉

同縣同郡同村同大字

合名會社淺虫製鹽所右會社清算人

米 田 甚 吉

同縣弘前市大字百谷町三番戶

米 田 千 代 吉

宮 本 甚 兵 衛

右代理人 米 田 千 代 吉

野内村長 田 村 武 之 助

右代理人 米 田 千 代 吉

右ハ青森縣東津輕郡野内村大字淺虫所在米田千代吉ニ於テ鹽製造ノ許可ヲ得タル製鹽場ニ使用スル製鹽地ニ付前記五名ヨリ提出シタル別紙第一號明治四
十三年十月二十九日受付第一號乃至第五號ノ交付金下付申請書ニ對シ所轄三春支局ヲシテ調査ニ當ラシメ別紙第二號ノ通製鹽地ノ價額ヲ調査シ法第五條
及第六條ニ依リ五名ノ鑑定人ヲシテ鑑定セシメタルニ鑑定人ノ意見一致セサルヲ以テ當局ニ於テハ各鑑定人鑑定價額ノ平均ニ相當スル金額ヲ以テ大體ニ
於テ其ノ製鹽地ノ相當價額ト認メ明治四十三年省令第二十號第十四條第二項ニ依リ別紙第四號ノ決定書ヲ作成シ米田甚吉及合名會社淺虫製鹽所分ハ明治
四十四年三月十六日米田甚吉ニ米田千代吉、宮本甚兵衛及野内村長田村武之助分ハ同年三月十九日米田千代吉ニ之ヲ交付シタルニ前者ハ同年三月十八
日後三者ハ同年三月二十一日別紙第五號ノ不服申立ヲ爲シタルモノニ有之(別紙省略)

不服申立ノ事由ニ付按スルニ

一 事務室敷地二十八歩及使所敷地二歩ヲ除外シタルハ違法ナリト云フモ茲ニ所謂事務所ハ現ニ製造者及家族ノ住居ニ兼用シタルモノナルヲ以テ省令第三條ノ交付金ヲ下付スヘキ製鹽地ニ該當セザルモノト認メ申請ヨリ除外セシメタルモノニシテ此ノ點ニ關シテハ不服申立ノ餘地ナキモノト認ム又使所ハ煎熬場ト同一構内ト看做スヘキ燃料置場中ニ介在スルモノニシテ僅少ノ部分ナルヲ以テ使所敷地トシテ區分セズ第二百十七番地二畝十五歩中ニ包含セシメ製鹽地ト認メアリ

二 製鹽地ノ段別ハ土地臺帳面ノ段別ニ依リテ算定シ是ヨリ大ナル實測段別ニ依ラサリシハ違法ニシテ其ノ價額算出ニ方リ實測一坪ノ標準價格ヲ土地臺帳面ノ段別ニ乘シ計算シタルハ不當ナリト云フモ政府ニ於テ土地ニ對シ交付金ヲ下付スルニ方リ公認セラレタル段別タル土地臺帳面ニ從フヘキハ論ヲ俟タサル所ニシテ一筆中一部分除外スヘキモノアル場合ノ段別認定ハ製鹽地ト認メタル部分ヲ實測シテ計算シタルモノニシテ其ノ算定方ハ適當ナリ而シテ價額算定ニ用非タル標準單價ハ製鹽地附近ノ賣買價額ヲ參酌シ當該製鹽地ノ特殊ノ事情ニ鑑ミ最適當ト認ムル價格ヲ求メタルモノニシテ之ヲ土地臺帳面ノ段別ニ乘シタルハ相當ノ算定ト認ム

三 製鹽地ノ中溫泉利用濃縮裝置ヲ施セル部分ノ見積價額ハ製鹽及苦汁ヨリ生スル收益五千圓ニ達スルノ理由ヲ以テ漫然坪當百圓以上ノ價值アリト爲スモ其ノ計算ハ純益ノ算定誇大ニシテ計算ニ不條理アルノミナラス本製鹽場ハ溫泉熱ヲ利用シテ海水ヲ濃縮シ之ヲ煎熬スルノ製鹽法ニシテ鹽田製鹽ニ非サルヲ以テ法律第四十八號第三條ニ依リ製鹽地ノ納付鹽賠償金額ニ依リ價額ヲ見積ルヘキモノニ非ス同第五條第一號ニ該當スルモノナルヲ以テ禁止後見込價額ト同ク鑑定人ノ意見ヲ徵シ現地ノ狀態ニ基キ適宜ナル價額ヲ決定スヘキモノニ屬ス而シテ本製鹽場敷地ハ海水濃縮ノ目的ト爲セル蒸發池ト煎熬貯藏等ニ使用スル其ノ他ノ敷地ノ二種ニ區分スヘキモノニシテ前記ノ趣旨ニ依リ本製鹽地ノ見積價額及禁止後見込價額ハ左記ノ方法ニ依リ別紙第六號鑑定決定價額調書ノ如ク調査決定シタルモノナリ(別紙省略)

(一) 蒸發池ニ供用ノ分

右ニ屬スル七筆合計二百四十九坪ハ平地ヲ二三尺掘下ケ其ノ中ニ點在スル三十餘箇所ノ掘抜井戸ヨリ湧出スル溫泉ヲ貯溜シ海水ヲ滿タシタル二百三十九箇ノ蒸發鍋ヲ裝置シ以テ海水濃縮ノ目的ヲ達スルモノニシテ製鹽地所在附近ハ一般ニ溫泉湧出スルヲ以テ溫泉ノ湧出及貯溜ノ目的ヲ達スル裝置並濃縮鍋ハ土地ト區分シテ別ニ價格ヲ見積リ製鹽地トシテ大體ニ於テ附近宅地ニ比準シテ其ノ價格ヲ定メ且附近一帶ノ地ヨリモ比較的高度ノ溫泉ノ湧出スル特殊ノ事情ヲ參酌シテ坪當二十二圓七十四錢ニ見積リタルモノニシテ淺虫溫泉場ト稱スル溫泉ノ湧出スヘキ地區ノ宅地ノ價格ニ對シ適當ノ比準ヲ保テルモノト認ム而シテ不服申立人ハ蒸發池ヲ三百坪ナリト稱スルモ蒸發池ト否トハ現地ノ狀況ニ依リ其ノ他ノ敷地ト區分スヘキモノニシテ第六番中二十四歩及第二百十八番中二十七歩ハ現形濃縮裝置ノ爲掘下等ノ加工ヲ施シアラスシテ他ノ敷地中ニ包含セシメ價額ヲ見積ルヲ適當トスルモノナリ

(二) 蒸發池以外ノ敷地

前記蒸發池以外ノ製鹽地ハ普通宅地ト何等ノ事情ヲ異ニセザルヲ以テ之カ見積價額ハ純然タル宅地トシテ坪當十二圓トシ禁止後見込價額亦其ノ儘宅地トシテ坪當十二圓ニ決定シタルモノニシテ製鹽地トシテモ製鹽以外ノ用途ニ使用スルモノトシテモ其ノ價額ニ差ナキモノト認メタルハ適當

第十二章 不服申立

當ナリト信ス

四 螢谷百九十番煎熬場敷地一步ハ百五十圓ニテ買入タルヲ以テ見積價額二十五圓ト決定シタルハ不當ナリト云フモ賣買登記價額ハ僅ニ五圓ニ過キスシテ假ニ實際ノ買價ハ登記價額ト相違スルモノトスルモ右一步ノ地ハ該製鹽場構内ノ中央ニ介在シ買得者ニ取りテハ之ヲ買受クルニ付特ニ切要ナル關係ヲ有スルモノニシテ此ノ特別ノ事由ヨリ出テタル異常ノ價額ヲ以テ製鹽地整理ノ基礎ト爲スヘキモノニ非スト認メ他ノ養液池ト同ク一坪二十二圓七十四錢ノ價格ヲ認メタルモノニシテ製鹽禁止後ニ於テハ鑛泉地トシテ同額ノ價アルモノト認メ結局禁止前後ニ價額ノ差ナキモノト算定シタルモノニシテ現ニ申請書ニ於テモ禁止後ハ溫泉ニ使用トシテ一坪三十圓ノ價格ヲ認メ居レルモノニ屬ス

第二 建物設備器具器械ニ關スル事項

不服申立人

青森縣東津輕郡野内村大字淺虫九十九番戶

米 田 甚 吉

同 所

米 田 千 代 吉

右ハ前項記載米田千代吉製鹽場ニ於テ製鹽ニ使用スル建物設備器具器械ニ付前記二名ヨリ提出シタル別紙第七號明治四十三年十月二十九日受付第一號建物交付金下付申請書及別紙第八號同日受付第一號及第二號設備器具器械交付金下付申請書ニ對シ所轄三春支局ヲシテ調査ニ當ラシメ別紙第九號及第十號ノ通申請物件ノ價額ヲ調査シ三春支局長ハ法第六條第二項前段ニ依リ右調査價額ヲ基礎トシテ敷回申請者ト協議ヲ重ネタルモ申請者ノ主張著ク過大ニシテ遂ニ協議ヲ調フルニ至ラス依テ法第七條第二項後段ニ依リ交付金ヲ下付スヘキモノト認メタル建物設備器具器械ノ全部ヲ鑑定ニ付シタル別紙第十一號ノ如ク鑑定人ノ意見ハ少シク支局調査金額以上ニ出テタルモ當局ニ於テハ審査ノ結果鑑定價額ニ相當スル金額ヲ以テ適當ナリト認メ省令第十四條第二項ニ依リ別紙第十二號ノ決定書ヲ作成シ明治四十四年三月二十五日各申請人ニ其ノ送達ヲ了シタルニ同年三月三十日別紙第十三號及第十四號ノ不服申立ヲ爲シタルニ有之(別紙省略)

右不服申立ノ事由ニ付按スルニ

一 建物ノ見積價額算定ニ關シ製鹽場所在地ハ僻地ニシテ木材鐵物職工等ノ供給不十分ニシテ普通以上ノ費用ヲ要シタルヲ以テ建坪三百九十八坪ニ對シ一坪平均七圓五十錢ニ見積價額ヲ算定シタルハ過少ナリト云フモ建物ノ價額調査ニ方リテハ所管地方廳在勤ノ專門技術者ニ囑託シテ材料工費保存期間等ヲモ慎重ニ調査シ猶數次調査及監督ヲ重ネタルモノヲ基礎トシタルモノニシテ材料及職工ノ大部分ヲ青森市ヨリ供給スルノ點ヲモ參酌シ計算シタルヲ以テ決定書ノ見積價額ハ勿論禁止後見込價額共最適實ナルモノト認ム而シテ交付金ヲ下付スヘキ建物坪數ハ三百四十八坪ニシテ一坪當見積價額平均ハ八圓六十四錢六厘ニシテ前記ノ數字ハ誤謬ト認ム

二 製鹽用事務所及便所建物ヲ交付金ヲ下付スヘカラサルモノトシテ除外シタルハ不當ニシテ其ノ見積價額ト禁止後見込價額ノ差額金八百九十二圓九十四錢五厘ハ交付金下付申請書ヨリ除外シ居ルノ形式アルハ本人ノ知ラサル所ナリト云フモ右建物ハ省令第四條ノ交付金ヲ下付スヘキ建物ノ範圍ニ包含セサルコト疑ナキヲ以テ一旦申請書提出後申請者ニ注意ヲ與ヘ訂正削除セシメタルモノニ屬シ形式ノ如何ニ拘ラス此ノ如キ建物ニ對シ交付金ヲ下付スヘカラサルハ論ヲ俟タサル所トス

三 省令第五條ノ設備器具器械ノ見積價額ハ一万二千十六圓十二錢一厘ニシテ禁止後見込價額ハ殆ト見積ルヘキモノナク右金額即チ交付金相當額ト爲シ決定書ノ見積價額三千三百四十七圓八十四錢二厘ヲ過少トシ禁止後見込價額百六十五圓五十六錢五厘ヲ過大ナリト云フモ設備器具器械ノ中主要ト認ムヘキ物件ハ建物ト同ク專門技術者ニ囑託シテ其ノ價額ヲ精査シ一般ニ支局ニ於テ敷回ノ念査ヲ重ネタルモノニシテ見積價額ハ新調價額保存年限ヨリ推算シテ最適實ニシテ禁止後見込價額ハ地方ノ事情ニ鑑ミ相當ノ用途ト價額ヲ算定シタルモノト認ム

四 海水濃縮装置中温泉貯溜掘下工事ハ一坪平均五圓以上ヲ要シタルニ之ヲ三尺掘下工費一坪一圓六十錢ニ調査シタルハ不當ナリト云フモ調査書計算基礎ニ示ス如ク掘下人夫二人土捨人夫二人各單價四十錢ヲ以テ調査地ノ一間當掘下費用トシテ充分ト認定シタルモノナリ

五 海水濃縮装置中掘抜井三十一箇ハ一箇平均九十圓以上ヲ要シタルニ拘ラス一箇二十六圓六錢餘ト見積リ決定シタルハ不當ニシテ掘抜工事ハ淺クトモ六七間ニシテ深キハ二十間以上ニ達スルモノアリト云フモ井戸ノ深淺及之ニ伴フ工費ノ大小ハ調査書ニ示ス如ク其ノ計算ノ基礎ハ附近多數ノ鑿井ノ實例ニ鑑ミ専門職業者ノ意見ヲ參酌シテ一間當四圓十七錢五厘ヲ適當ト認メタルモノニシテ地盤ノ硬軟ニ付テハ現狀ハ高度ノ温泉常ニ貯溜シ居リ實際ノ地質ヲ精査スルハ至難ニ屬スルヲ以テ適當ニ見積リヲ立テ決定シタルモノニシテ其ノ決定ハ相當ト認ム

六 現存蒸發鍋二百五十五枚中十六枚及煎釜釜豫備三枚ヲ除外シタルハ豫備品ヲ無視シタルモノニシテ又鍋ノ深多クハ七寸五分ヨリ八寸ナルニ拘ラス之ヲ六寸トシテ計算シタルハ不當ナリト云フモ法第一條第二項ニ依ルモ現ニ製鹽設備トシテ据付タル物件ノ外取外シテ貯藏セル豫備品ノ如キハ交付金ヲ下付スヘキモノニ非サルハ疑ナク鍋ノ深サニ付テハ調査書明記ノ如ク五寸乃至一尺二寸各様ニシテ實地ニ基キ適當ニ區分調査シタルモノナリ

要スルニ申請人ハ多年同製鹽場ヲ經營シ半途事業蹉跌ノ不幸ニ陥リタルモノニシテ今回整理ニ方リ之カ爲ニ消費シタル資本ノ回收ヲ熱望スル餘徒ニ過大ノ交付金ヲ得ムコトヲ希望セルモノト被認不服申立ハ其ノ理由ナク製鹽地建物設備器具器械共決定額ヲ以テ適宜ナルモノト認メ候而シテ製鹽地及建物ノ範圍ニ付テハ政府ノ決定ニ對シ不服ノ申立ヲ爲スヲ得サルハ勿論本人ニ於テ除外ヲ不當ナリトスル物件モ申請書ニ除外シアルヲ以テ此ノ點ニ關スル不服申立ノ餘地ナキモノト認メ候

右意見ヲ附シ及進達候也

明治四十四年六月五日

大藏大臣 公爵 桂 太郎 殿

專賣局長官 濱 口 雄 幸 印

再鑑定執行ニ關スル一切ノ事務ハ專賣局長官ヲシテ之ヲ取扱ハシムルコトニ明治四十四年七月十日省議ヲ決シ前記不服申立ニ對シ大藏大臣ハ省令第十六條ニ依リ左ノ通鑑定人ヲ選定セラレタリ

鑑定區域	鑑定物件	官職名	氏名
水戸支局管内	製鹽地、建物、設備器具器械	專賣局技師	野並龜治
同	建物、設備器具器械	大藏省臨時建築部技師	沼尻政太朗
水戸支局管内	製鹽地	稅務監督官補	佐々木寅吉
三春支局管内	製鹽地	同	伊東達三
水戸支局管内	製鹽地、建物、設備器具器械	茨城縣技師	都澤惇
三春支局管内	同	青森縣事務官	田中千里

再鑑定ニ關スル事務掌理ノ爲左ノ心得ニ依リ奧技師ヲ出張セシメ水戸支局管内ニ於ケル鑑定人ハ之ヲ水戸支局ニ三春支局管内ニ於ケル鑑定人ハ之ヲ三春支局青森出張所ニ招集シ左ノ鑑定心得書ヲ交付シ明治四十四年六月十九日ヨリ同月二十七日ニ至ル迄ニ於テ各鑑定物件所在地ニ就キ再鑑定ヲ執行セシメタリ

再鑑定事務ニ關スル出張員心得

- 一 鑑定物件ハ專賣局ノ決定シタル部分數量ニ限ルヘキモノナルコト
- 二 省令第九條第一號該當ノモノハ其ノ部分ニ對スル鑑定ヲ要セサルコト
- 三 前鑑定人ノ鑑定後ニ於テ鑑定物件ノ毀損シタルモノアルトキハ禁止ノ際ノ現状ヲ案シ鑑定スヘキコト
- 四 專賣局ノ決定價額ハ鑑定人ノ要求アルトキハ參考トシテ説明スルコト
尙支局長ヲシテ支局調査ノ順序方法等ヲ説明セシムルハ妨ナキコト
- 五 鑑定價額ヲ專賣局ノ決定價額以上ニ出テタルトキハ出張員ハ之ニ對スル意見ヲ復命スルコト右復命ニハ支局長ノ意見ヲ求メ添附ノコト
- 六 鑑定書ハ手續第四十五條ニ準シ作成スヘキコト
- 七 鑑定書ニハ算定基礎ヲ明ニセル説明書ヲ添附セシムヘシ但シ製鹽地ノ見積價額及禁止後見込價額ヲ決定額ト同一ナルトキ又ハ建物設備器具器械ノ價額ヨリ禁止後見込價額ヲ控除シタル金額ヲ決定額ト同一ナルトキハ説明書ヲ省略スルモ妨ナキコト
- 八 鑑定ニハ支局長ヲシテ立會ハシムルコト
- 九 實地ニ臨ミテハ申請者又ハ其ノ代理人ヲ立會ハシムルコト

鑑定心得

- 一 鑑定人ハ明治四十三年四月法律第四十八號及同年五月大藏省令第二十號ニ依リ鑑定ヲ爲スモノトス
- 二 鑑定人ハ專賣局長官カ法律命令ノ規定ニ依リ交付金ヲ下付スヘキモノト決定シタル物件ニ付其ノ價額ヲ鑑定スルモノトス
前項ノ價額ハ鹽製造禁止ノ際ニ於ケル現状ヲ勘案シテ鑑定スルモノトス
- 三 鑑定人鑑定物件ニ就キ實地調査ヲ爲シタルトキハ鑑定價額ノ協定ヲ爲スモノトス
- 四 鑑定人鑑定價額ヲ協定シタルトキハ一申請書毎ニ別ニ定メタル様式ノ鑑定書ヲ作成シ連署スルモノトス
前項鑑定價額ノ協定調ハサルトキハ鑑定人ハ各自鑑定書ヲ作成スルモノトス
- 五 鑑定人ハ專賣局出張員ニ對シ專賣局決定價額ノ内容計算基礎等ノ説明ヲ求ムルコトヲ得
- 六 鑑定人ハ自己親族又ハ後見雇傭同居其ノ他利害關係アル者ノ利害關係ヲ有スル物件ノ鑑定ニ付テハ回避ノ申立ヲ爲スヘキモノトス

再鑑定執行ノ結果鑑定人ノ意見ハ前ニ專賣局長官ノ決定シタル價額ト同一ニシテ其ノ鑑定書ハ七月十日附ヲ以テ大藏大臣ニ進達シタルニ越テ八月十八日決定價額通ニ裁定アリ同日附ヲ以テ

各申請人ニ對シ裁定書傳達ノ手續ヲ爲シ渡邊兵四郎ニ對シテハ八月二十二日ニ岩松善次郎ニ對シテハ八月二十三日ニ何レモ之レカ送達ヲ了シタリ

裁定書交付後水戸支局管内ニ於ケル渡邊兵四郎ハ九月六日附岩松善次郎ハ九月二日附ニテ裁定價額ニ承服シ交付金ノ下付ヲ受度キ旨申出アリタルヲ以テ九月二十七日及二十八日ニ給付ノ手續ヲ了シ之カ結著ヲ告ケタルモ三春支局管内ニ於ケル米田甚吉外四名ハ何等申出ナク十月十九日ニ至リ米田甚吉同千代吉及合名會社淺虫製鹽所ノ三名ハ行政訴訟ヲ提起スルニ至リタリ而シテ宮本甚兵衛及野内村字淺虫ノ二名ハ裁定書送達後六十日ヲ經過シ不服申立無カリシヲ以テ宮本甚兵衛ニ對シテハ交付金無キコトニ確定シ野内村字淺虫ニ對シテハ十二月二十三日交付金給付ノ手續ヲ了シタリ

製鹽地裁定件數及交付金額表

△印ハ減

明治四十三年度整理

支局名	出張別	件數	申請額	調査額	鑑定額	決定額	裁定額	確定額	確定額ニ對スル差額			
									申請額	調査額	鑑定額	決定額
水戸	平	一	一六、四六六、六五七	三三、六六七	三三、六六七	三三、六六七	三三、六六七	六、六三三、九八三	—	—	—	—
	青森	二	六、二〇八、六〇〇	二二、三三、四四〇	五、六九四、七六六	四三、一九八〇	四三、一九八〇	四三、一九八〇	五、七七六、六二〇	△一九八、二四〇	—	—
三春	同	三	三、一七三、〇一〇	三、九八七、四四〇	二、五四一、六八八	二、六七六、一六〇	二、六七六、一六〇	—	—	—	—	—
	合計	三	三、二一八、五五五、二〇五	二、五九一、四〇七	五、九一、一四三	四、五四、六四七	四、五四、六四七	四、五四、六四七	二、四〇〇、六〇三	△一九八、二四〇	—	—
		合計	三、二七三、〇一〇、八〇〇	三、九八七、四四〇	二、五四一、六八八	二、六七六、一六〇	二、六七六、一六〇	—	—	—	—	—

備考

- 一 明治四十四年度ハ本表該當事項ナシ
- 二 訴訟提起中ノモノハ別行ニ掲載シ確定額以下記入セス

建物裁定件數及交付金額表

明治四十三年度整理

支局名	出張所別	件數	申請額	調査額	鑑定額	決定額	裁定額	確定額	確定額ニ對スル差額					
									申請額	調査額	鑑定額	決定額	裁定額	
水戸	助川	一	一、九〇六、九七二	五〇〇、四一〇	五七五、一五八	五七五、一五八	五七五、一五八	一、三三二、八二四	△ 七四、七四八					
		二	一、二九五、六一六	三三一、六五六	三八二、六七六	三八二、六七六	三八二、六七六	三八二、六七六	七四六、八四〇	△ 五、〇二〇				
		三	三、〇三六、四八八	八三三、〇六六	九五七、八三四	九五七、八三四	九五七、八三四	九五七、八三四	二、〇七八、六五四	△ 二五、七六八				
		計	八、七四九、三八三	二、三四〇、〇八八	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、〇七八、六五四	△ 二五、七六八				
三春	青森	一	八、七四九、三八三	二、三四〇、〇八八	九五七、八三四	九五七、八三四	九五七、八三四	九五七、八三四	二、〇七八、六五四	△ 二五、七六八				
		二	三、〇三六、四八八	八三三、〇六六	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、〇七八、六五四	△ 二五、七六八				
		三	三、〇三六、四八八	八三三、〇六六	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、〇七八、六五四	△ 二五、七六八				
		計	八、七四九、三八三	二、三四〇、〇八八	九五七、八三四	九五七、八三四	九五七、八三四	九五七、八三四	二、〇七八、六五四	△ 二五、七六八				
合計		一	八、七四九、三八三	二、三四〇、〇八八	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、〇七八、六五四	△ 二五、七六八				
		二	三、〇三六、四八八	八三三、〇六六	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、四八八、八四一	二、〇七八、六五四	△ 二五、七六八				

備考

- 一 明治四十四年度ハ本表該當事項ナシ
- 二 訴訟提起中ノモノハ別行ニ掲載シ確定額以下記入セズ

省令第五條設備器具器械裁定件數及交付金額表

明治四十三年度整理

支局名	出張所別	件數	申請額	調査額	鑑定額	決定額	裁定額	確定額	確定額ニ對スル差額				
									申請額	調査額	鑑定額	決定額	裁定額
水戸	助川	一	五、七四七、七六一	一、九三〇、三七二	二、四九八、五一二	二、四九八、五一二	二、四九八、五一二	三、二四九、二五〇	△ 五六八、一三九				
		二	九、〇四九、二二六	二、九五四、四三三	三、二二五、六八三	三、二二五、六八三	三、二二五、六八三	五、八三三、五四三	△ 二六一、二四九				
		三	二、四七九、九八七	四、八八四、八〇六	五、七七一、九四四	五、七七一、九四四	五、七七一、九四四	九、〇八二、七九三	△ 八二九、三八八				
		計	一、二、〇六、一三三	三、一八〇、〇九八	三、一八二、二七七	三、一八二、二七七	三、一八二、二七七	九、〇八二、七九三	△ 八二九、三八八				
三春	青森	一	二、四七九、九八七	四、八八四、八〇六	五、七七一、九四四	五、七七一、九四四	五、七七一、九四四	九、〇八二、七九三	△ 八二九、三八八				
		二	一、二、〇六、一三三	三、一八〇、〇九八	三、一八二、二七七	三、一八二、二七七	三、一八二、二七七	九、〇八二、七九三	△ 八二九、三八八				
		三	二、四七九、九八七	四、八八四、八〇六	五、七七一、九四四	五、七七一、九四四	五、七七一、九四四	九、〇八二、七九三	△ 八二九、三八八				
		計	一、二、〇六、一三三	三、一八〇、〇九八	三、一八二、二七七	三、一八二、二七七	三、一八二、二七七	九、〇八二、七九三	△ 八二九、三八八				
合計		一	一、二、〇六、一三三	三、一八〇、〇九八	三、一八二、二七七	三、一八二、二七七	三、一八二、二七七	九、〇八二、七九三	△ 八二九、三八八				
		二	二、四七九、九八七	四、八八四、八〇六	五、七七一、九四四	五、七七一、九四四	五、七七一、九四四	九、〇八二、七九三	△ 八二九、三八八				

△印ハ減

△印ハ減

備考

- 一 明治四十四年度ハ本表該當事項ナシ
- 二 訴訟提起中ノモノハ別行ニ掲載シ確定額以下記入セス

省令第六條器具裁定件數及交付金額表

明治四十三年度整理

支局名	出張別	件數	申請額	調査額	鑑定額	決定額	裁定額	確定額	確定額ニ對スル差額			
									申請額	調査額	鑑定額	決定額
水戸	平	一	三、六〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	〇	〇	〇	〇
		一	一、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	〇	〇
三春	青森	一	二、四〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇	〇	〇	〇	〇
		三	五、四〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	〇	〇	〇
合計		一	二、四〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇	〇	〇	〇	〇

備考

- 一 明治四十四年度ハ本表該當事項ナシ
- 二 訴訟提起中ノモノハ別行ニ掲載シ確定額以下記載セス

裁定件數及交付金額合計表

△印ハ減

支局名	件數	申請額	調査額	鑑定額	決定額	裁定額	確定額	確定額ニ對スル差額			
								申請額	調査額	鑑定額	決定額
水戸	三	七、二四、四八五、五二五	五、七四、二〇三、三九	六、六九七、一九五	六、六九七、一九五	六、六九七、一九五	六、六九七、一九五	〇	〇	〇	〇
		六、二〇、八、六〇〇	二、三三、七四〇	五、六九七、四七六	四、三二、九八〇	四、三二、九八〇	四、三二、九八〇	四、三二、九八〇	〇	〇	〇
三春	六	六、四八、〇六九、七〇四	五、九一九、六六六	八、二二三、五四六	八、二三四、八〇一、八	八、三三四、八〇一、八	八、三三四、八〇一、八	〇	〇	〇	〇
		九、三〇、六、九四、二二五	五、九七五、七七九	七、二六六、六七一	七、二九一、七五	七、二九一、七五	七、二九一、七五	七、二九一、七五	〇	〇	〇
同計	六	六、四八、〇六九、七〇四	五、九一九、六六六	八、二二三、五四六	八、二三四、八〇一、八	八、三三四、八〇一、八	八、三三四、八〇一、八	〇	〇	〇	〇
		九、三〇、六、九四、二二五	五、九七五、七七九	七、二六六、六七一	七、二九一、七五	七、二九一、七五	七、二九一、七五	七、二九一、七五	〇	〇	〇